



同帰亭要語録

「菩薩法華ヲ学ブニ一種ノ行ヲ
具足ス。一ハ有相行。二ハ無相行。
無相行ハ、安らぐ行也。妙相行ハ、甚
く心もんもんする行也。三は、定也。六
は、情根ヲ觀察ス。有相安樂行ハ、散
心ニ法華ヲ誦シ、禪ニ入ラズ。坐立行、一心ニ
法華ノ文字ヲ念ズ。」（輔行二）

一つは**有相行**、もう一つは**無相行**と申します。無相行というのは、『三昧に入る』即ち『座禅』のような形の修行法で、外からみたら何をしているのかサツパリわからないので、『無相』です。修行している本人は観念觀法を凝らしてサトリを開くべく修行しているわけです。

『有相』というのは、『口唱している姿』ですから、誰が

有相は事相行
“たゞ法華の文字を唱え念ずる”というのが、口唱という修行です。これが“機法相当”で、門祖日隆聖人は事行トハ口唱ナリと示されてあります。つまり口唱修行は有相行であり、事相行ということになるのです。

日々の行動も事相 修行が事相であれば、日常の言語動作、所作ふるまいも亦事相にあらわれなければ意味がありません。修行が実つて信心が深くなれば、仏法上も世法の上でも菩薩的な行動が出てくるのが当然で、菩薩ハ慈悲ヲ以テ基トシ利他ヲ以テ先トス。(日本真言宗事)

なり。不輕菩薩の人を敬ひしは
いかなる事ぞ。教主釈尊の出世の
本懐は人の振舞にて候けるぞ。
(崇峻天皇事 1646)

凡夫の心が菩薩のような心に変つてくれば、"心が外ニアラワレル"という法則で、たいてん、"いゝ人"になつてくるので、凡夫の心をソノママにしておいて御利益は頂けません。心の改良が出来て、行いがわかつて来て、これこそ御利益が自然にあらわれるということを知らねばなりません。



ディリーパ・マドウシャーン良潤師

佛立アンバサダー

テイリーハ

四月三日 当山ご来寺激励

現況等を話して下さり、激励をして下さることになつてお
ります。

成口唱会を実施致します。
午前十時より十二時まで、
高祖大士への大恩報謝の真心

第六章 第五節

清流ニテズ

発行所
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164

令和5年度総祈願
本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加
日堯上人五ヶ年報恩御奉公寺内境内整備御有志運動推進
高祖二降誕八〇〇年慶讃本山大法要 参詣御奉公成就
甲乙御講願主増加御講・御統講御会式參詣推進 教養会活動充実
励まし声かけ助行・積極的御法門聴聞・御利益感得口唱実践

高祖大士
立教開宗記念日口唱会
四月廿八日 十時～十二時
来る、四月廿八日は、高祖
日蓮大士の立教開宗記念日で

したので、各教団とも將引
ご披露の上、年に一度の本寺
への当番参詣のご奉公成就さ
せていただきましょう。